

特定非営利活動法人

おかやま人権研究センター・ニュース

発行 センター事務局 2010. 2. 10 第5号

ブックレット「ハンセン病の差別と人権」

発行へ—企画編集会議で

1月22日開催の企画編集会議で、「人権21」誌上に連載された横田廣太郎氏の「ハンセン病の差別と人権」を、当センター発行のブックレットとして発行する案が決まりました。

同論文は、連載中から各方面から注目され、好評でした。連載6回のものでしたが、まとまった形で読みたいし保存したい、広く普及したい、といった声が編集部に寄せられていました。

そうした声に応える形で、ブックレット化の案がまとまったわけです。その際、ボリューム的に少しサイズが小さいのが、少し書き足してもらおうのがよい、といった意見が出され

ました。

それらの意見を勘案して、5月岡山で開催のハンセン病問題の全国大会を視野に入れて準備することも話し合われました。

8月号特集に農業問題を

企画編集会議では、8月号の特集としてどんな問題を取り上げたいだろうか、ということが話し合われました。

編集委員会からは、環境問題、日米問題、農業問題などが候補としてあげられました。

この問題提起を受けて、大森副理事長から、農業問題専門の弘前大学教授の名前が挙げられました。編集委員会では、早速そのための具体化の準備をすることにしました。

編集委員会では、当日候補としてあげなかったテーマとし

て「地方主権」とかとか、さらには「道州制」などといった形で話題になっている「地方の時代」という問題も重要な問題だと考えています。8月号の特集として農業問題がうまくセットできれば問題ありませんが、そうでない場合には、「地方の時代」を取り上げることもあると考えています。

これらの点は、4月開催の理事会での正式に承認を得て本決まりとなることは言うまでもありません。

